

令和元年度 第 1 回
松川町地域公共交通対策協議会 次第

日時 令和元年 5 月 28 日(火) 午後 2 時 00 分～
場所 松川町役場 2 階 協議会室

1. 開会

2. 会長挨拶

3. 協議事項

(1) 平成 30 年度事業及び決算報告について <P3～><別紙 1>

(2) 令和元年度事業計画(案)及び予算(案)について <P6～>

(3) 生活交通確保維持改善計画(案)について <別紙 2>

(4) 監査員の選出について

_____ 委員、 _____ 委員

(5) デマンド運行について <別紙 3>

4. その他

(1) 停留所の増設を求める要望書について <P9>

(2) 小中学生のコミュニティバス利用の無料化を求める要望書について <P10>

5. 今後のスケジュール

・12 月(予定) 第 2 回松川町地域公共交通対策協議会

・3 月(予定) 第 3 回松川町地域公共交通対策協議会

6. 閉会

松川町地域公共交通対策協議会名簿

【敬称略・順不同】

所属団体等	役職	氏名	備考
松川町	町長	<u>宮下 智博</u>	会長
松川町社会福祉協議会	会長	水野 一昭	副会長
伊那バス株式会社	代表取締役	藤澤 洋二	
丸茂自動車有限会社	代表取締役	片桐 実	
大島地区代表	<u>古町区長</u>	<u>中川 初俊</u>	
上片桐地区代表(区長会長)	上片桐区長	<u>大澤 今男</u>	
生田地区代表	<u>部奈区長</u>	<u>林 貞喜</u>	
松川町商工会	会長	小澤 文人	
松川町女性団体連絡協議会	理事	<u>宮島 和子</u>	
松川町福祉を考える会	会長	原 節子	
国土交通省北陸信越運輸局 長野運輸支局	首席運輸企画 専門官	<u>芦澤 千恵子</u>	
長野県南信州地域振興局	局長	土屋 智則	
長野県飯田建設事務所	所長	<u>丸山 義廣</u>	
飯田警察署	署長	<u>福澤 政徳</u>	
松川町建設課	課長	小沢 雅和	
伊那バス労働組合	自動車対策部長	唐木 達也	
松川町教育委員会	教育長	高坂 敏昭	

事務局

松川町副町長		幹事長
松川町まちづくり政策課長	<u>小木曾 雅彦</u>	事務局長
松川町まちづくり政策課リニア・公共交通係長	佐々木 保	事務局員
松川町まちづくり政策課リニア・公共交通係	<u>河野 通祥</u>	事務局員

(1) 平成30年度事業及び決算報告について

① コミュニティバス運行路線

路線名		運行事業者
通常便	M 8 大島循環（平日運行）	伊那バス株式会社
	M 2 上片桐循環（平日運行）	伊那バス株式会社
	M 4 生田循環 峠部奈線（月・水・金曜日運行）	丸茂自動車有限会社
	M 5 生田循環 中山柄山線（火・木・土曜日運行）	丸茂自動車有限会社
通学便	M 6 上片桐・大島通学便（平日運行）	伊那バス株式会社
	M 3 部奈線（平日運行）	伊那バス株式会社
	M 7 生田線（平日運行）	伊那バス株式会社

② 利用状況（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

○全体の利用者数は31,890人で、昨年度と比較して1,943人（△5.7%）減少。

- ・うち通常便の利用者は12,536人で、昨年度と比較して1,007人（△7.4%）減少。
- ・うち通学便の利用者は19,355人で、昨年度と比較して936人（△4.6%）減少。

③ 主な事業

1) 大島循環線の車両更新

●平成31年3月28日運行開始

車種：トヨタハイエースバンGL/14人乗/4WD/2700cc

[車両本体(架装費込み)]

購入額：5,390,000円(税込み)《地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金を活用》
[ラッピング]

施工費：570,240円(税込み)《長野県地域発元気づくり支援金事業を活用》

※デザインは松川高校生徒にデザイン原案を作成してもらい、出された6点の中から町内小中学生全員の投票により最多得票の作品を採用。

○旧車両売却

557,940円 売却先：日本総合リサイクル(株)（富山県高岡市）

新大島
循環車両



2) 共通通学定期券（高校生通学定期券）の販売開始

- ・利用開始：10月1日（月）～
- ・販売料金：1カ月/1,000円、3カ月/3,000円、6カ月/6,000円
- ・周知：発売前の9月25日（火）に松川高校門前にて、9月26日（水）に伊那大島駅、上片桐駅前にて事務局職員がチラシを配布。
- ・販売状況：3月末時点

	1カ月	3カ月	6カ月	販売金額
10月	4人	2人	—	10,000円
11月	1人	—	—	1,000円
12月	1人	—	—	1,000円
1月	1人	1人	—	4,000円
2月	1人	—	—	1,000円
3月	1人	—	—	1,000円
計	9人	3人	0人	18,000円

3) 乗り方教室・説明会等におけるバスの周知

○バスの乗り方教室

【実施内容】

- ・方法：町の社会福祉協議会主催の「一人ぐらし高齢者の会」に合わせて開催
- ・実施日：大島地区／11月21日（水）、参加者12名
上片桐地区／11月26日（月）、参加者14名
生田地区／11月30日（金）、参加者13名
※無料乗車券証明書の再発行7名
- ・内容：1) まつかわフルーツバスの現状説明
2) バスの利用の仕方、時刻表の見方、マナー等
3) バスの乗車体験

○説明会等におけるバスの周知

【実施内容】

- ・方法：町保健福祉課が高齢者を対象に行っている各種説明会へ事務局職員が出向き、バスをPR
- ・内容：(1) コミュニティカフェ（8月）
実施回数/5回、参加者数/78名（重複あり）
※無料乗車券証明書の再発行4名
(2) 後期高齢者説明会（7月より開始～12月現在）
実施回数/6回、参加者数/68名
※無料乗車券証明書の再発行8名
(3) 介護保険制度等説明会（8月より開始～12月現在）
実施回数/5回、参加者数/36名

平成30年度 松川町地域公共交通対策協議会 決算書

歳入合計	57,078,683 円
歳出合計	57,078,683 円
差引残額	0 円(次年度へ繰越)

1 歳入

(単位:円)

款	項	目	節	予算額	決算額	比較増減	説明	
1	負担金			59,396,000	55,994,851	△ 3,401,149		
	1	負担金		59,396,000	55,994,851	△ 3,401,149		
		1	負担金	59,396,000	55,994,851	△ 3,401,149		
			1	負担金	59,396,000	55,994,851	△ 3,401,149	町負担金
2	繰越金			60,000	60,828	828		
	1	繰越金		60,000	60,828	828		
		1	繰越金	60,000	60,828	828		
			1	繰越金	60,000	60,828	828	前年度繰越金
3	諸収入			10,000	1,023,004	1,013,004		
	1	諸収入		10,000	1,023,004	1,013,004		
		1	雑入	10,000	1,023,004	1,013,004		
			1	雑入	10,000	1,023,004	1,013,004	回数券収入・預金利息・元気づくり支援金事業・大島循環旧車両売却
歳入合計				59,466,000	57,078,683	△ 2,387,317		

2 歳出

(単位:円)

款	項	目	節	予算額	決算額	比較増減	説明	
1	運営費			280,000	75,744	△ 204,256		
	1	会議費		200,000	47,500	△ 152,500		
		1	会議費	200,000	47,500	△ 152,500		
			1	報酬	200,000	47,500	△ 152,500	監査会、協議会委員報酬
	2	事務費		80,000	28,244	△ 51,756		
		1	事務費	80,000	28,244	△ 51,756		
			11	需用費	50,000	12,800	△ 37,200	タクシー利用分
			12	役務費	30,000	15,444	△ 14,556	振込手数料
2	事業費			59,186,000	57,002,939	△ 2,183,061		
	1	事業費		59,186,000	57,002,939	△ 2,183,061		
		1	事業費	59,186,000	57,002,939	△ 2,183,061		
			11	需用費	500,000	468,862	△ 31,138	スタッドレスタイヤ購入、時刻表路線図印刷等
			12	役務費	16,000	15,700	△ 300	生田循環車両自動車税
			13	委託料	52,593,000	51,128,377	△ 1,464,623	運任委託料、大島循環ラッピング施工
			18	備品購入費	6,077,000	5,390,000	△ 687,000	大島循環車両購入
3	予備費			0	0	0		
	1	予備費		0	0	0		
		1	予備費	0	0	0		
			1	予備費	0	0		
歳出合計				59,466,000	57,078,683	△ 2,387,317		

監査報告


平成30年度決算書の各事業について監査の結果、その内容が適正であることを認めます。

令和元年5月14日

監査委員

小澤文人 

監査委員

松尾貢 

(2) 令和元年度事業計画（案）及び予算（案）について

◆事業計画（案）

1. 基本方針

- 生活のなかで必要とされている通学、通院、買物、清流苑利用者の交通手段として、誰もが利用できる公共交通を整備し、安心して暮らすことのできる地域づくりを目指します。
- 地域公共交通について住民との対話を深め、利用の促進やより良い運行・仕組みづくりに協働の視点を重視し取り組みます。

2. 運行路線及び運行事業者

	路線名	運行事業者
通常便	M 8 大島循環（平日運行）	伊那バス株式会社
	M 2 上片桐循環（平日運行）	伊那バス株式会社
	M 4 生田循環 峠部奈線（月・水・金曜日運行）	丸茂自動車有限会社
	M 5 生田循環 中山柄山線（火・木・土曜日運行）	丸茂自動車有限会社
通学便	M 6 上片桐・大島通学便（平日運行）	伊那バス株式会社
	M 3 部奈線（平日運行）	伊那バス株式会社
	M 7 生田線（平日運行）	伊那バス株式会社

3. 運賃

- 大人 200 円
- 小人 100 円（小中高生）
- 無料乗車できる方（下記対象者）
 - ◇ 小学校就学前の方
 - ◇ 上片桐地区（大沢南部・大沢北部）から中学校へ通学する生徒
 - ◇ 生田地区から中央小学校へ通学する児童
 - ◇ 生田地区から中学校へ通学する生徒
 - ◇ 次のいずれかに該当する、本人及び生活扶助に利用する介護人の方
 - ① 身体障害者手帳、療育手帳及び精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方
 - ② 要支援及び要介護認定の方
 - ◇ 65 歳以上の方
 - ◇ 障がい者福祉施設に通所の方

4. 定期券・回数券

- 高校生通学定期券
1ヶ月（1,000円） 3ヶ月（3,000円） 6ヶ月（6,000円）
- 小中学生通学定期券 ※上片桐・大島通学便のみ取扱
1ヶ月（1,000円） 3ヶ月（3,000円） 6ヶ月（6,000円）
- 回数券
200円券 11枚綴り（販売価格 2,000円）
100円券 11枚綴り（販売価格 1,000円）

5. 時刻表・路線図（別添参照）

6. 取組事業

- [継続] 「ひまわり乗車券」スタンプ制度の実施
- [継続] わかりやすい時刻表・路線図の作成、配布
- [継続] わかりやすいバス利用の周知
- [継続] 公共交通再編（運行形態の見直し）
- [新規] 生田地区を対象にデマンド運行（実証運行）の実施
〔4月1日より実施〕
 - ・大島循環の1・2・3便に「中塚医院」の停留回数を増
 - ・生田循環2路線の1・2・3便の生東地区と部奈地区を「フリー乗降」に変更
 - ・生田循環 中山柄山線の1・2・3便に「キラヤ前」の停留回数を増

7. 目標指標

路線名	R元 目標利用者数	H30 利用者数実績値
大島循環	4,000人	3,360人
上片桐循環	4,500人	3,861人
※ 上片桐・大島通学便	5,000人	4,375人
生田循環 峠部奈線	3,500人	2,958人
生田循環 中山柄山線	3,000人	2,357人
※ 生田線	7,500人	7,086人
※ 部奈線	8,500人	7,894人
計	36,000人	31,891人

※…学生利用が多い路線

令和元年度 松川町地域公共交通対策協議会会計 予算書(案)

歳入合計	56,969,000 円
歳出合計	56,969,000 円
差引残額	0 円

1 歳入

款	項	目	節	本年度	前年度	比較	説明	
1	負担金			56,949,000	59,396,000	△ 2,447,000		
	1	負担金		56,949,000	59,396,000	△ 2,447,000		
		1	負担金	56,949,000	59,396,000	△ 2,447,000		
			1	負担金	56,949,000	59,396,000	△ 2,447,000	町負担金
2	繰越金			0	60,000	△ 60,000		
	1	繰越金		0	60,000	△ 60,000		
		1	繰越金	0	60,000	△ 60,000		
			1	繰越金	0	60,000	△ 60,000	前年度繰越金
3	諸収入			20,000	10,000	10,000		
	1	諸収入		20,000	10,000	10,000		
		1	雑入	20,000	10,000	10,000		
			1	雑入	20,000	10,000	10,000	回数券・預金利息
歳入合計				56,969,000	59,466,000	△ 2,497,000		

2 歳出

款	項	目	節	本年度	前年度	比較	説明	
1	運営費			270,000	280,000	△ 10,000		
	1	会議費		200,000	200,000	0		
		1	会議費	200,000	200,000	0		
			1	報酬	200,000	200,000	0	委員報酬
	2	事務費		70,000	80,000	△ 10,000		
		1	事務費	70,000	80,000	△ 10,000		
			11	需用費	50,000	50,000	0	事務用品
			12	役務費	20,000	30,000	△ 10,000	振込手数料
2	事業費			56,699,000	59,186,000	△ 2,487,000		
	1	事業費		56,699,000	59,186,000	△ 2,487,000		
		1	事業費	56,699,000	59,186,000	△ 2,487,000		
			11	需用費	370,000	500,000	△ 130,000	時刻表印刷、車両修繕費
			12	役務費	16,000	16,000	0	自動車税
			13	委託料	56,313,000	52,593,000	3,720,000	運行委託料
			18	備品購入費	0	6,077,000	△ 6,077,000	
3	予備費			0	0	0		
	1	予備費		0	0	0		
		1	予備費	0	0	0		
			1	予備費	0	0	0	
歳出合計				56,969,000	59,466,000	△ 2,497,000		

町長	副町長	委員	係長	係
高野		山崎	柴	河野

松川町 町長 様



コミュニティバス停留場増設についての要望書

日頃は当自治会の事業におかれましてはご支援ご協力いただきまして有難うございます。

現在コミュニティバスの停留場が大沢南部と松川高校西信号機の北側までの約900m位の2カ所のところにありますが、フルーツラインより東下地域に住宅アパート等含めても30戸余りの世帯があります。しかも高齢化も進み車等乗れない方も、年々増えております。現在バス停まで歩いていくと中間に位置する方は20分～30分位かかる方もいらっしゃる様です。そこで中間点にもう1カ所バス停を設けていただきたく自治会員の意見と一っしょに要望書を提出させていただきます。

令和元年5月20日

清北自治会長

矢澤俊幸



- 5/28開催の松川町地域公共交通対策協議会において、
要望書の提出があった旨、説明いたします(柴)

平成 30 年 5 月 24 日

松川町町長 深津徹様

大島区長 伊藤正一

大島育成会長 宮下博文

小中学生のコミュニティーバス利用の無料化を求める要望書

日頃は上大島地区の事業にご理解、ご協力いただき感謝申し上げます。現在、小中学生のスクールバス、コミュニティーバス利用については生田と上片桐の一部地域が無料となっております。

上大島上段地区については、一か月通学定期が 1000 円となり、ご配慮頂いているところであります。しかし、大島地区の町政懇談会においても毎回無料化の要望意見が出ているのはご承知の事と思えます。そこで今回、区長名と育成会長名でその思いを伝えるべく署名活動に至りました。

昨今の世情では通学途中の児童生徒の痛ましい事件が多発していることから、遠距離の徒歩通学の危険性も懸念されます。よって 673 名の署名をもって、小中学生のコミュニティーバス利用の無料化を要望致します。

令和元年 5A14A. 改めて 宮下町長へ来庁説明。関克義 大島区長
熊谷彰三 氏
熊谷宗明 町議